

教育学部生における教員志向性に 個人の特性が及ぼす影響

ーバーンアウトに基づく性格特性とレジリエンス及び教職上のストレスへの不安感に着目してー

○西村優希^{#1}・西本瑞穂^{#1}・平木里奈^{#1}・石野陽子^{#2}

(^{#1} 島根大学教育学部学校教育課程 I 類・^{#2} 島根大学教育学部)

目 的

現代の学校教育において、子ども自体やそれを取り巻く環境の多様性をはじめとして、学校で起こる問題や教員の働き方に関する話題をしばしば耳にする。それらが教員養成課程に在籍しつつも最終的に教員を目指さない学生に影響している節がある。教員養成課程に在学初期の大学生の教員志向性に対し、どのような要因が影響しうるのか。

そこで、本研究では、教員として働き続けることを想定したときに影響しうる個人の特性に着目し、その特性が教員養成課程に在学する大学生の教員志向性にどう影響しているのかを調査する。

方 法

調査対象者 国立大学教員養成課程に在学する大学1回生115名(男性47名、女性68名)

調査方法 質問紙法による。心理学系必修科目授業時において配布回収を行なった。配布部数115部、回収部数115部(100.00%)、有効調査部数104部(90.43%、男性40名、女性64名)であった。

調査時期 2022年7月8日(金)2限終盤に20分程度で実施した。

調査内容 ①教員志向性尺度(島根大学教育学部が独自に設定):4項目、非常にあてはまる—あてはまらないの6件法、②新性格検査尺度13因子のうち持久性・規律性・神経質の3因子:15項目、はい—いいえの3件法(柳井ら,1990)、③レジリエンス尺度:20項目、よくあてはまる—まったくあてはまらないの5件法(森ら,2002)、④大学生が考える教職上の不安感:職務自体のストレス(高木ら,2003);10項目、とてもそうである—全くそうではないの4件法

結 果 と 考 察

教員志向性の得点に対して、各質問項目の因子得点との相関と教員志向性の高低によって3段階に分けた。その3群間での*t*検定による分析を行なった。その結果の中でも*t*検定で有意差がある因子を

TABLE 1 に示す。

まず相関については、新性格特性の持久性($p<.01$)と規則性($p<.01$)、レジリエンス($p<.01$)に正の相関が見られ、教職を長く続けていく上での関係性が伺える。逆に、唯一負の相関がある職務自体のストレス(高木ら,2003)に関して、具体的な職務として、学校教育における日常的な人間関係の構築の項目因子である、実施困難な職務に強い相関があった($p<.01$)。大学の教員養成課程では、学ぶ事が難しいものであり、どうしたらよいかの想像のつかなさが大きく関わっていると推察される。

次に、*t*検定の分析結果に着目すると、レジリエンスの質問項目因子である I HAVE($p<.05$)と I WILL/DO($p<.01$)の平均値については低群が他2群よりも高くなった。ここには、自分にとって助けとなりうる他者の不在や大変な職種だと感じているがゆえに楽観的に物事を考えることができないといったところが教職を続けていく自信の低下につながっていると考えられる。また、高群が他2群より平均値が低い実施困難な職務($p<.01$)については、高群の方が学校教育における日常的な人間関係の構築への不安感が低い。単に他2群と比べて、そうした業務に自信があるに過ぎないのか、もしくは何か別の要因が根拠となって不安感が低く、教員志向性の高さに影響しているのか。ここについては、本研究の結果からは考察を得ることが困難であるため、今後の課題とする。

TABLE 1 教員志向性と各質問項目の因子得点との相関及び教員志向性質問項目合計を基準として各質問項目の因子得点を低群・中群・高群に分けた群間での*t*検定

	相関係数	平均値			<i>t</i> 検定		
		低群	中群	高群	低—高	中—高	低—中
持久性	.31 **	2.11	2.39	2.63	.00 **	.09	.02 *
規則性	.26 **	1.75	2.02	2.28	.00 **	.11	.04 *
レジリエンス	.44 **	3.33	3.93	4.39	.00 **	.00 **	.00 **
I AM	.44 **	2.55	3.34	4.20	.00 **	.00 **	.00 **
I HAVE	.21 *	3.94	4.41	4.64	.02 *	.31	.02 *
I CAN	.37 **	3.25	3.83	4.39	.00 **	.02 *	.00 **
I WILL/DO	.38 **	3.59	4.13	4.35	.00 **	.18	.00 **
職務自体のストレス	-.23 *	2.68	2.66	2.31	.06	.03 *	.91
実施困難	-.30 **	2.61	2.52	1.93	.00 **	.00 **	.56

** : $p<.01$ * : $p<.05$